

# 2017年度事業報告書

## 1. 歌謡音楽の振興及び普及

---

講演会等での歌謡音楽の啓蒙・普及活動の実施（2018年3月31日現在）

- (1) 一昨年度より始めた、「遠藤実大賞」を柱に、多くの方々に遠藤実メロディーをより身近に感じていただき、歌ってもらうという目的を遂行できた。
- (2) BSを中心に、昭和を懐かしみ作詞・作曲家をとりあげる番組が多くなっている中で、遠藤実も幾度となく、作品・本人にスポットを当てる番組が制作された。その都度情報や資料提供など財団も協力を行った。
- (3) 昨年31年振りに編集発売した、譜面集「遠藤実のすべて ベスト200」を多くの方に知っていただこうと頒布、発売促進に努めた。
- (4) その他、歌謡音楽の啓蒙・普及に努めた。

## 2. 遠藤実記念館『実唱館』の管理・運営

---

- (1) 記念館、休憩ルームにてカラオケの提供  
楽しく・歌える記念館の宣伝を兼ねた、毎月2回のカラオケイベントの開催や、口コミ効果もあり、歌える記念館として定着してきた。毎日歌いに来るお客さんもいるほど、連日賑わっている。
- (2) カラオケDAMの採点機能で歌った得点上位者が「遠藤実大賞2017」の準決勝へ参加できる、記念館特別枠を設けた。それにより、練習に来るお客さんが増え、カラオケ使用率が上がった。
- (3) BS放送による遠藤実元理事長を特集する番組が放送になり、その中で記念館の展示物を映しながら、記念館の存在も知ってもらうことができた。
- (4) 遠藤実元理事長の作曲生活にまつわる関係資料の展示及び著作物の販売  
平成29年4月1日～平成30年3月31日までの入館者数 5,918人  
(カラオケのみの利用者含まず)

### 3. 歌謡音楽を通じての国際交流

---

(1) 中日互惠信頼構築シンポジウム

昨年度の日本でのシンポジウムに引続き、日中両国の音楽著作権に関する諸問題について意見や情報を交換し、両国の今後の音楽文化発展に資するべく討論を、中国北京市にて開催した。

(2) 「遠藤実大賞2017」決勝大会の中で国際交流部門を設けた。在新潟中国総領事館、中国留学生の有志の皆さんに「北国の春」「すきま風」を日本語・中国語で歌ってもらい、記念品の贈呈をした。

孫大剛総領事より、「北国の春」は日中友好の象徴的歌であり、これからもその役割を担っていくものと期待をしています、とのありがたいご挨拶をいただいた。

(3) 『Studies on East Asian Evergreen pops in the 20<sup>th</sup> Century』の頒布について

当財団ホームページ上で告知し希望者を募ったところ、オランダの作曲家より1冊の申込みがあった。

### 4. 賛助会員の申し込み (2018年3月31日現在)

---

個人 : 79人

法人 : 1社